



ふつうのくらしをささえるしくみ



愛南町社会福祉協議会では、第1期地域福祉活動計画作成を通じて、身近な小地域でのネットワークの構築を目指してきました。町内全ての小地域での活動を生み出すことができませんでしたが、多くの小地域で活動が生まれ、これからの地域のことを考えるきっかけを生み出すことができました。今回、第2期地域福祉活動計画策定にあたっては、生活支援体制整備事業の実施、重層的支援体制構築準備事業の実施など、社会福祉協議会が新たに取り組む支援を含めて、地域住民の皆さんが人と人の「つながり」を実感できるための施策を推進することを目指しています。そして、一人ひとりの「ふだんのくらしのしあわせ」が当たり前のこととなることを実現するため、愛南町に、「ふつうのくらしをささえるしくみ」をつくっていくことを目指します。

今月号の愛南NOKOTOは「小地域福祉活動」についてご紹介させていただきます。

活動の卵

現在行われている地域での活動をご紹介します！



やまびこキッチン再開したよ



コロナ禍で1月から休止していましたが、5月28日旧正木保育所で「やまびこキッチン」を開催しました。今回は外にテントを立てるなど感染症対策を講じ、たくさんの方が来てくれました！次回は、6月25日（土）11時～13時半に開催します

柏分館活動 懇話会



5月13日、柏分館のみなさんと今後の地域活動について話し合い、柏地区をより良くするために楽しみながら活動していくことを確認しました。早速、休耕田の草刈りが行われました。どんな花が咲くか、楽しみです！

サロン訪問記

一本松サロン・なでしこ

健康教室でお勉強



今年度初めてのサロン開催しました

一本松地域の『一本松サロン・なでしこ』で、感染症対策を講じ令和4年度第1回のサロンを開催し、今年度の計画やしたいこと等についてみなさんで決めていきました。コロナ禍でも取り入れやすい活動として、町内日帰り旅行を計画しており、愛南町の魅力を発見できることを教えてもらいました。

その後、保健師を招き「健康教育」を実施しました。1年間3回の実施で、身体測定や健康チェックシートで自身の記録をとります。今回は栄養について、保健師より講話をしていただき、意見交換では、ふだんの体調や持病についての相談などが活発に行われました。

うちのサロンでも健康の話をしてみようかな、と思ったら社協までご連絡ください。帰りには、お土産に女子弁当をみなさんにお配りし大変、喜ばれておりました。

第2期 愛南町地域福祉活動計画

AINAN
NOKOTO



愛南町社会福祉協議会の目指す“地域福祉推進”

～ふつうのくらしをささえるしくみ～

地域の物語を知るしくみ

一人ひとりが、どのような「ふだんのくらしのしあわせ」を願っているのか、福祉の専門職だけでなく、住民や様々な社会資源と一緒に対話を重ねることができる場を作ります。また、そこで生まれる地域の物語を発信していきます。

地域の物語を支えあうしくみ

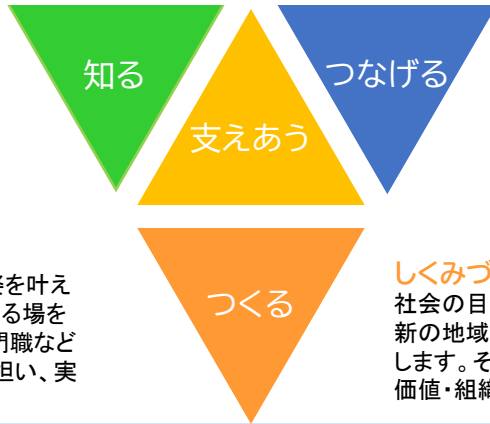
一人ひとりの物語で描かれるありがたい姿を叶えるために、自分たちに何ができるか考える場をつくります。そして、住民だけでなく、専門職などが信頼関係のもとでそれぞれの役割を担い、実行し評価していきます。

地域の物語をつなげるしくみ

一人ひとりの物語を尊重しつつ、共通項を探し、同じ思いを持つ人々をつなげ、地域の大きな物語を考える場を作ります。そのために、社協では地域の様々な社会資源とのつながりを目指し、ネットワークの構築機能を強化していきます。

しくみづくりのための専門職のチャレンジ

社会の目まぐるしい変化にいち早く対応し、常に最新の地域の物語を追い求め地域の場づくりに挑戦します。そして、仕組みづくりのための知識・技術・価値・組織の研鑽に努めます。



基本目標1

知る

ライフステージに合わせた福祉教育

町内の小中学校、高校と連携した福祉教育だけでなく、ふれあいサロン、地域づくり事業等、社協がかかわる全ての世代においての生涯学習を通じて福祉教育を推進します

双方向の対話を重視した場の設定

小地域活性化事業、地域づくり事業、ふれあいサロン等、地域住民と社協の接点において、地域の現状と課題をお互いどのように認識しているのか、双方向の対話を通じて積極的な共通理解を図ります

地域を基盤とした支援

福祉サービスを必要とする本人の側に立った援助システムを構築します。本人を生活の場であった地域から切り離すのではなく、地域での関係性を継続しながら生活主体者としての本人の解決能力を向上できるようにします

基本目標2

つなげる

小地域での組織化

地域懇話会を開催し、町内で活動する団体同士が互いの活動を知り、メンバーの想いを共有し、その力がさらに発揮できるように組織化を図ります

地域住民×専門職 専門職×専門職

重層的支援体制整備事業や生活支援体制整備事業など目指す地域を基盤とした支援を実現するために、地域住民と専門職の連携・協働を進めます。また、専門職同士の連携・協働を進め、多様化、深刻化、潜在化する地域生活課題に対する適切な対応を目指します

小地域での支え合いの活性化

地域における支え合い機能の活動について可視化し、支え合いを活性化していきます

基本目標3

支えあう

地域の“さ”とりを支援する

在宅福祉、相談支援などの個別支援において、地域生活課題を抱える当事者の理想と現実の“差”を問題と捉え、本人がそこまでの課題を認識し、一つひとつ解決し、ありがたい姿の自分に近づけるようにします

個別支援と地域支援の好循環

個別支援での具体的な地域生活課題の解決策をそのまま使うのではなく、それをいったん抽象化して本質的な課題や成功要因を抽出し生活支援の全体構想の具体策を導きだします

町民の参加と協働を進めるコーディネート

社協が行うすべての事業において「誰もがその地域で安心して自分らしく暮らせる地域社会の構築」を基本理念に将来像を描き、持続可能な暮らしやすい地域を実現するために多くの町民が参加できる、協働で活動を推進できる支援を目指します

基本目標4

つくる

職員の専門性を最大限発揮

愛南町社会福祉協議会に所属するすべての職員が、地域福祉を推進するために求められる専門性を高める機会を設けます

組織マネジメントにより、チームの総合力で支援を展開

相談支援、在宅福祉、地域福祉を推進するなかで、重層的支援体制整備事業、生活支援体制整備事業、生活困窮者自立支援事業等の社協内だけでなく、社協以外との連携・協働事業が増えるなかで、社協内の組織マネジメント機能を高め、チーム社協として支援を典型していきます

自らが動く、なぜを問い続ける文化をつくる

社会福祉法人愛南町社会福祉協議会という民間の持つ力は何かを常に見直します。そのうえで、既存の事業のみを行うのではなく、ニーズを見つけて一歩先を行く先駆的な取り組みを目指します

